

ご挨拶

本学の大学院、特に博士後期課程の在籍者および修了者を掲載する「若手研究者一覧」（2013年度版）を、お届けします。本冊子は、博士課程における本学大学院生の研究活動を、一人ひとりの研究テーマや研究概要、主要業績などに関して紹介するために、毎年、版を改めて刊行するものです。

本学の大学院は、この十数年の間に、大学院に対する様々な要請に合わせて教育・研究組織の改組を進め、現在では、14研究科29専攻、1インスティテュートを擁する体制になっています。さらに、2004年度からは、専門職大学院として、法務研究科、イノベーションマネジメント研究科(2専攻)を設置しております。その結果、これら多くの専攻による多彩な選択肢を提供しています。また、本学では、早くから、昼夜開講など社会人に適合したコースを設定して、社会人の受け入れを積極的に行っています。さらに、国際的な教育・研究の要請に応えて、留学生の学びの環境を整えてきました。

このように本学の大学院教育の複合化は社会の要請に添って進められて来ましたが、大学院教育が次世代の学問研究の発展を担う新進気鋭のイノベティブな研究者の養成を目的としていることは言うまでもありません。各学問分野における知的集積の高度化と多核化によって、大学における学術研究の学問性が社会における諸活動との連動性を問われている中、各専門分野における基礎的研究と先端的研究の重要性はますます高まっています。本大学院も「自由と進歩」を標榜する本大学の当然の使命として、基礎的・先端的な研究者養成に力を注いでおります。次世代の学問研究を担う若手研究者の研究成果が広く認められ、研究者として自立する途が開かれていくように本学としても努め、また関係各方面のご協力を仰ぐ次第です。

この「若手研究者一覧」では、本大学院の様々な研究科に所属し研究に励む若手研究者が、自らの言葉で、自分の研究活動を紹介しています。この冊子を通して、本大学院における若手研究者の研究実績と今後の可能性を理解していただければ幸いに存じます。加えて、この冊子が、各学会における研究交流を進める上で、あるいは、大学やその他の研究機関の人事に際して、若手研究者に関する有効な資料として参照されることを期待してやみません。

この冊子を手にとられる各組織、各機関におかれましては、本冊子刊行の趣旨に即して、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

2013年10月

法政大学大学院委員会

議長 大森健児